

科目名		精神障害評価学		授業の種類	講義	講師名		
授業回数	8回	時間数	15時間 (1単位)	配当学年・時期	作業療法士科2年		必修・選択	必修
〔授業の目的・ねらい〕								
本講座は、精神障害作業療法における評価の基礎的な知識を学習することが主な目的である。また、精神障害作業療法の評価手段である面接、関与しながらの観察、作業面接を取り上げ、演習を通して基礎的な技術を習得する機会とする。								
〔授業全体の内容の概要〕								
精神障害作業療法評価の基礎知識、精神障害作業療法の評価（総論）、評価の基礎技術（面接、関与しながらの観察、作業面接）などの基本を知る。								
〔講師の実務経験〕								
〔授業終了時の達成課題（到達目標）〕								
・精神障害作業療法評価の基礎とは何かを、大まかにでも説明できる。								
・面接、観察、関与しながらの観察、作業面接について大まかにでも説明できる。								
・基本技術である面接や観察した事柄を演習して、レポートに記録ができる。								
回数	講義内容							
1	精神障害作業療法の評価の基礎知識（距離をとる、関与しながらの観察、自閉）							
2	精神障害作業療法の評価とは（作業療法は、対象者の何をどう把握し、どう治療・支援するか）							
3	精神障害作業療法の評価技術－面接・観察のポイント、デモンストレーション（興味関心）							
4	精神障害作業療法の評価技術－面接・観察（興味関心）							
5	精神障害作業療法の評価技術－面接・観察デモンストレーション（希望・願い）							
6	精神障害作業療法の評価技術－面接・観察（希望・願い）							
7	精神障害作業療法の評価技術（講義・演習）－作業面接①							
8	精神障害作業療法の評価技術（演習）－作業面接②							
	定期筆記試験							
【 準備学習・時間外学習 】								
【 使用テキスト 】								
書籍名				著者名		出版社		
精神障害と作業療法				山根寛		三輪書店		
【 単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など） 】								
履修規定に準じ、試験の結果を100点満点として60点以上の場合に合格とする								